

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-33		管渠維持管理費				
	□支 援 部 門						
主管課	道水路管理課	関連課	下水道河川課・作業センター				
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	既存管路施設の維持管理を行う。						
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考		
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源 状 況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	220	222	222			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	220	222	222			
	人員配置数	0.4	0.4	0.4			
	人 件 費(千円)	3,487	3,514	3,640			
事務事業 運営経費	協 働 の パートナー						
	総事業費(千円)	3,707	3,736	3,862			
	市民1人当 りの経費(円)	21	21	22			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	対象者1人 当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △目標達成後退		目標値					
		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
管渠維持管理費	220千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A	■B	□C □D □E
	事業の概要	既存管路施設の賃借料				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	特になし。
課題解決のための取組	
未解決の課題	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価と今後の方向性								
中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止		※□事業完了	
		②妥当性	○			当面は現状を維持しながら、事業の進展に応じて必要な見直しを行う。	課長等名	
		③有効性	○				B	道水路管理課担当課長
		④公平性	○					木村 浩之

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
管渠維持管理費	536	土地賃借料	222	220	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
					☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
					☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
					☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
					☐ 適切 ☐ 見直し余地あり